

2021年3月期 決算説明資料

株式会社島精機製作所

2021年5月

2021年3月期決算概要

(百万円)

	2021年3月期	前期比	2020年3月期
売上高	24,489	△26.3%	33,206
営業利益	△9,143	-	△5,602
経常利益	△7,273	-	△5,583
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△17,866	-	△8,427

為替レート(円)	2021年3月期	2020年3月期	
ドル・円	110.71	108.83	期末為替レート(上段)
	106.36	108.34	平均売上レート(下段)
ユーロ・円	129.80	119.55	
	124.14	120.66	

ハイライト①

事業概況

アパレル業界の構造変化、新型コロナウイルス感染症の影響により、世界各地で工場の操業停止や営業活動の中断を余儀なくされ、大変厳しい事業環境が続きました。

【横編機】

中国国内向けやラグジュアリーブランド向け生産を行うイタリア等の投資の動きは一部あったものの、ベトナム、トルコなどのボリュームゾーンでの需要の低迷が大きく売上高大幅減少。また世界各地の何れにおいても伸び悩み売上高の回復には繋がりませんでした。

【デザインシステム】

- ・アパレルデザインシステムの「SDS-ONE APEX4」は、コンピュータ横編機の販売不振に連動して売上高は減少しました。
- ・自動裁断機「P-CAM」については、日本市場で下半期に持ち直したものの、海外市場など需要の落ち込みが大きく販売が低調となりました。

【手袋編機】

- ・コロナ禍の中でも、大手ユーザーの設備投資が実行され、年間通して好調に推移しました。

ハイライト②

利益面

- ・売上高の大幅な減少に加えて、販売単価の下落や生産調整に伴い売上総利益率が悪化
(前年同期比 Δ 10.7ポイントの24.3%)となりました。
- ・2020年5月から12月まで毎週金曜日を休業日に設定し、生産調整を実施しました。
1月より金曜日の稼働再開。休業日の設定期間中、研修会を積極的に開催、人材育成に充てました。
- ・販売費及び一般管理費において、人件費総額の抑制等に取り組みました。(前期比 Δ 21億円)
取締役報酬、執行役員報酬の減額を継続、賞与の減額
- ・設備投資は将来に向けた投資は実行、必要最小限の投資を実行しました。(前期比 Δ 24億円)
- ・土地、機械設備等の固定資産の減損損失を計上しました。(連結102億22百万円、個別88億69百万円)
- ・関係会社株式評価損を計上しました。(連結2億2百万円、個別5億63百万円)

2021年3月期〔連結〕営業活動

営業・サービス活動

中国など通常活動エリアは増えているが地域によっては活動制限も

オンライン展示会への出展

SAMPE Japan 先端材料技術展2020



ウェビナーの開催

2020年4月～2021年3月

開催ウェビナー回数 19回

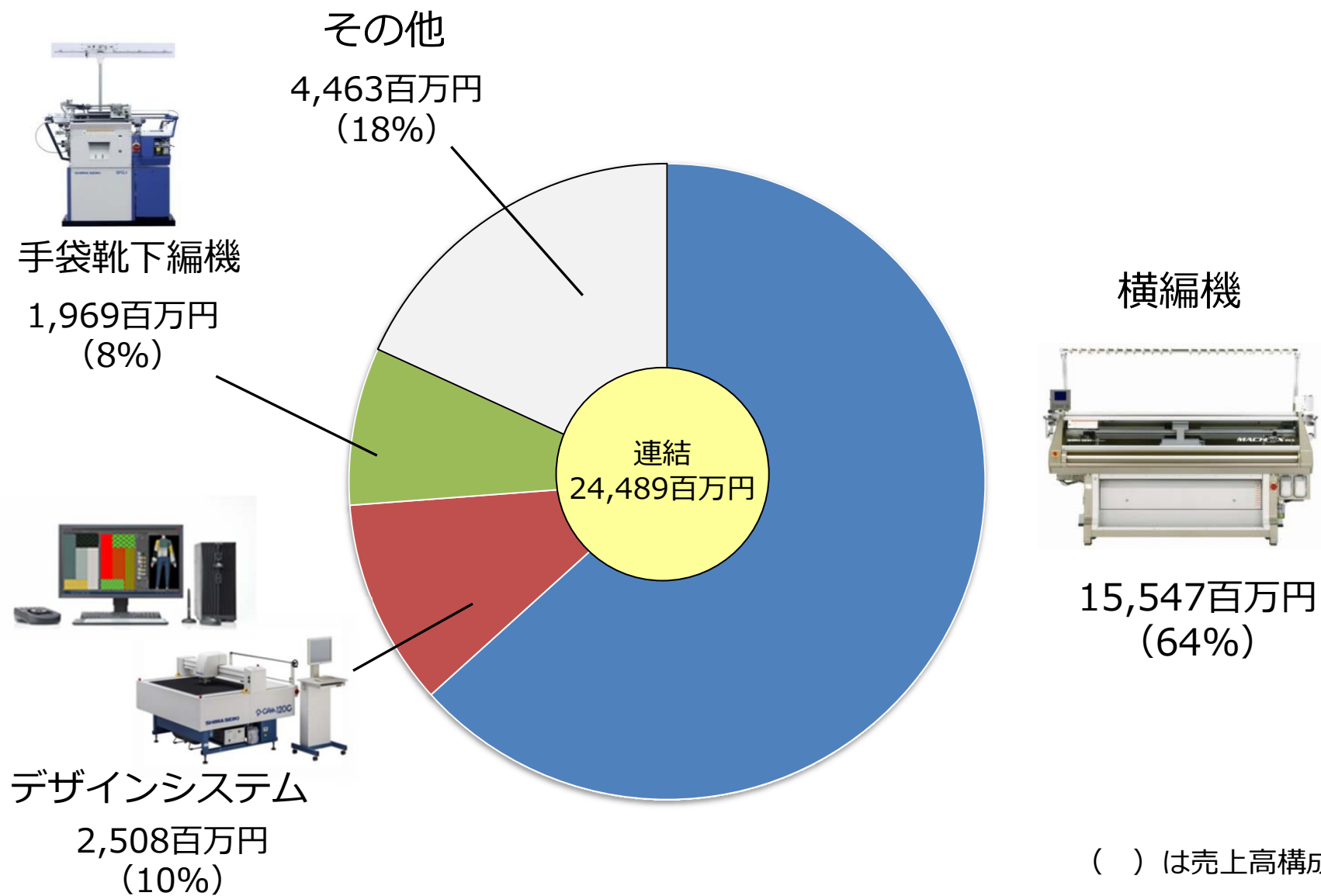
(日本語10回/英語5回/中国語4回)

参加人数 約850名

参加者国数 51か国



事業セグメント別売上高〔連結〕



事業セグメント別売上高・営業利益

(百万円)	売上高	前年同期比 (%)	営業利益	前年同期比 (%)
横編機	15,547	△32.0	△3,281	—
デザインシステム	2,508	△30.5	113	△63.1
手袋編機	1,969	+86.8	△242	—
その他	4,463	△21.2	12	△96.2
消去			△5,745	
合計	24,489	△26.3	△9,143	—

事業セグメント（横編機事業）

製品別カテゴリー



ホールガーメント横編機

- ・一着丸ごと立体的に編み上げる「MACH2XS」「SWG-N2」
- ・環境に配慮したモノづくりを実現
- ・ファッション小物・マスク製作等、ミニタイプも充実

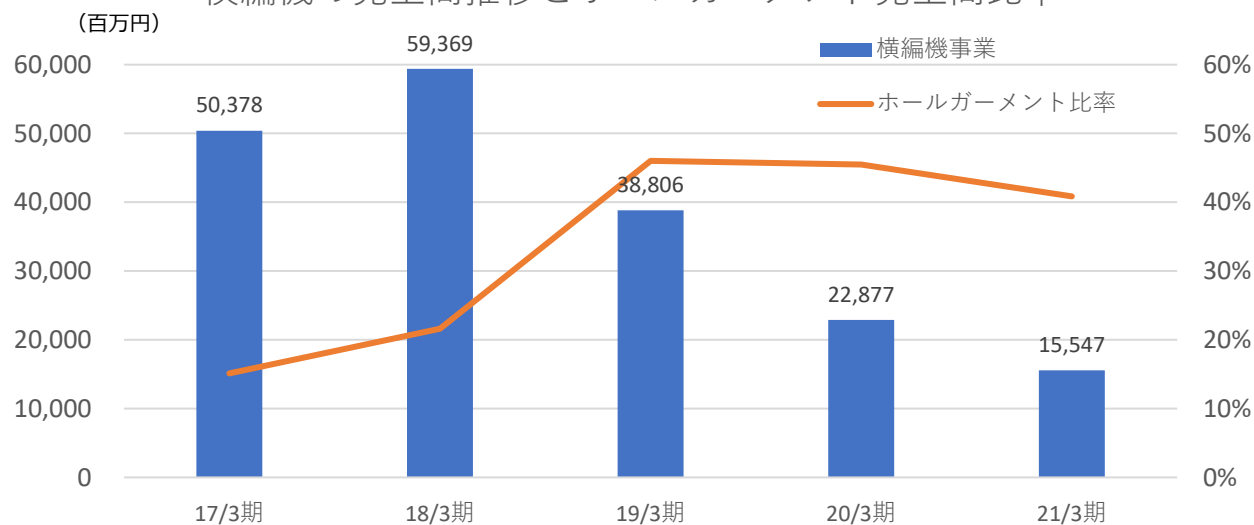


コンピュータ横編機

- ・パーツ毎に生地を編み、縫製・リンクング作業で完成させる
- ・編地に付加価値を高める「SRY」「N.SIR」「N.SVR SP」
- ・アジア等ボリュームゾーンの生産に用いられる「N.SVR」「N.SSR」

ホールガーメント売上高比率が40%以上で推移

横編機の売上高推移とホールガーメント売上高比率



事業セグメント（デザインシステム事業）

製品別カテゴリー



3Dデザインシステム「SDS-ONE APEX4」

- ・編み機のプログラミング、パターンCADに加えて、横編み、織物、プリント、丸編みなどのテキスタイルデザインやシミュレーションに特化したソフトウェアを搭載

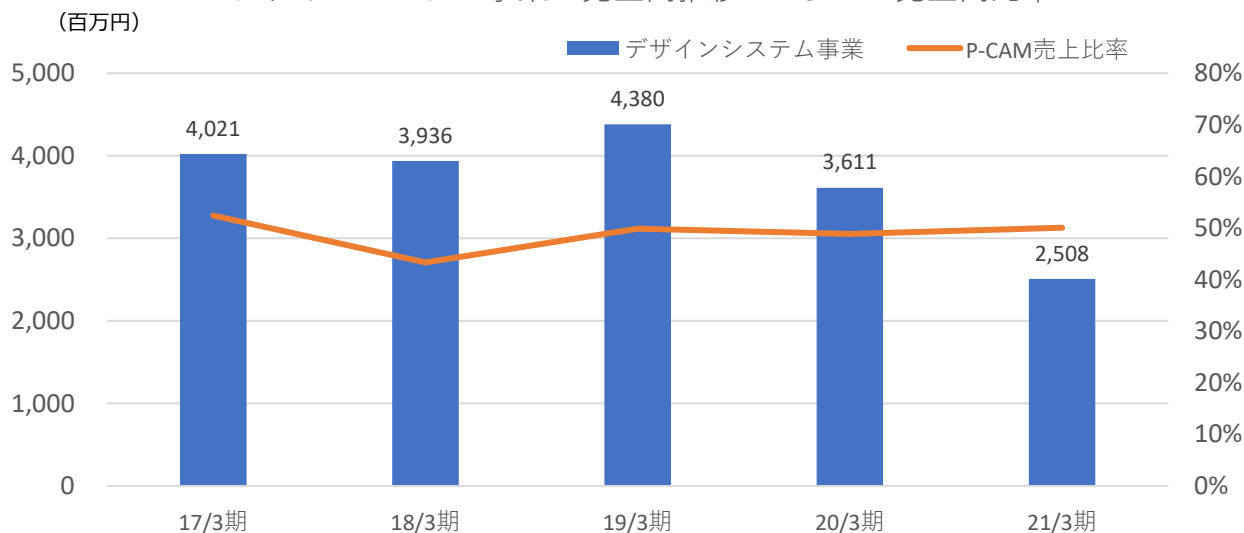


自動裁断機「P-CAM」

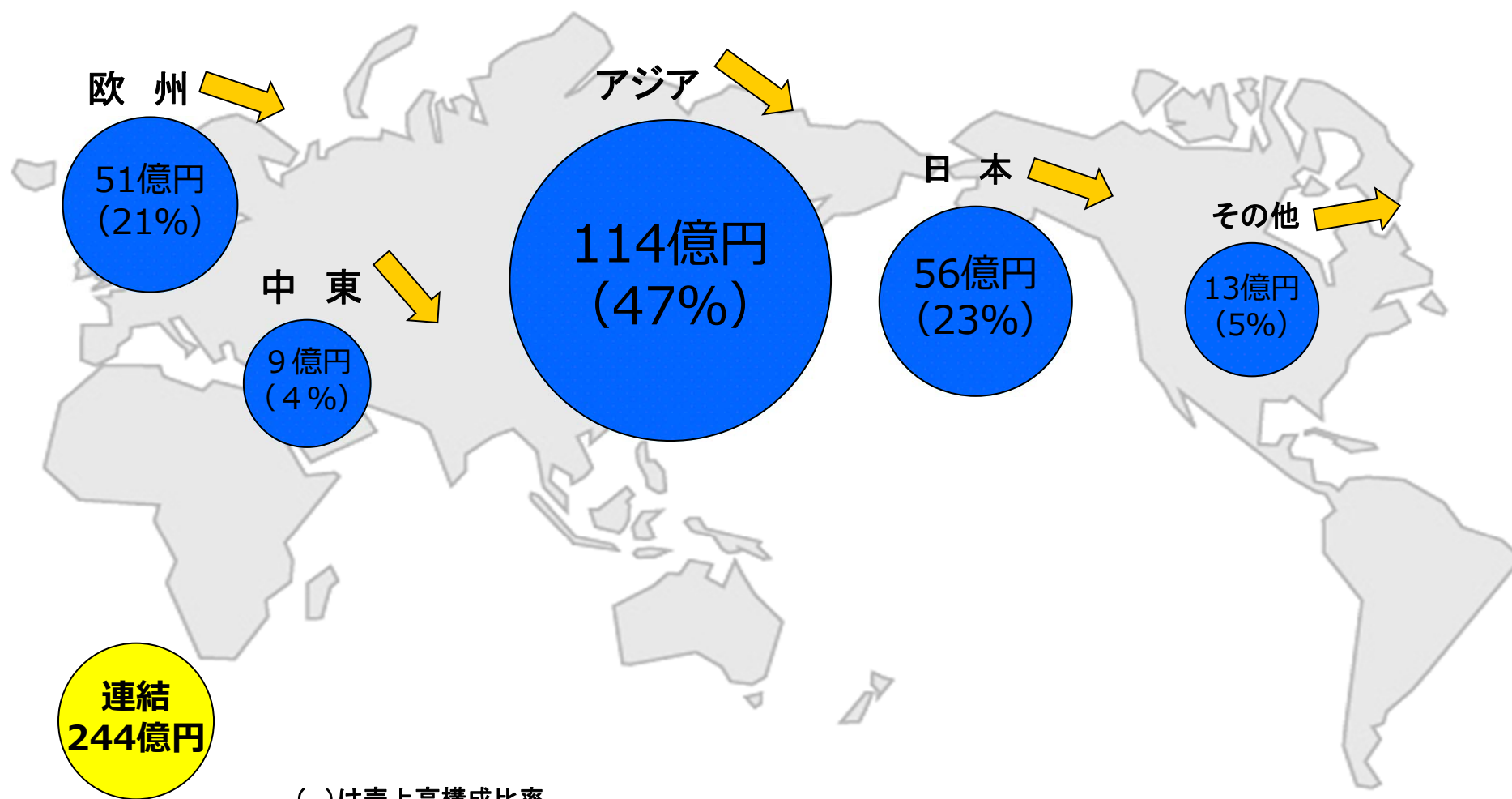
- ・自動裁断機のみならず、生地裁断の前後工程の省人化を実現するため、延反からラベリング、ピックアップ装置を提供。「Shima Cutting Solutions」としてアパレル業界、自動車、産業資材、など様々な業界へ浸透を図っている

当期はP-CAMの売上高比率は50%

デザインシステム事業の売上高推移とP-CAMの売上高比率



地域別売上高構成〔連結〕



地域別売上高〔連結〕

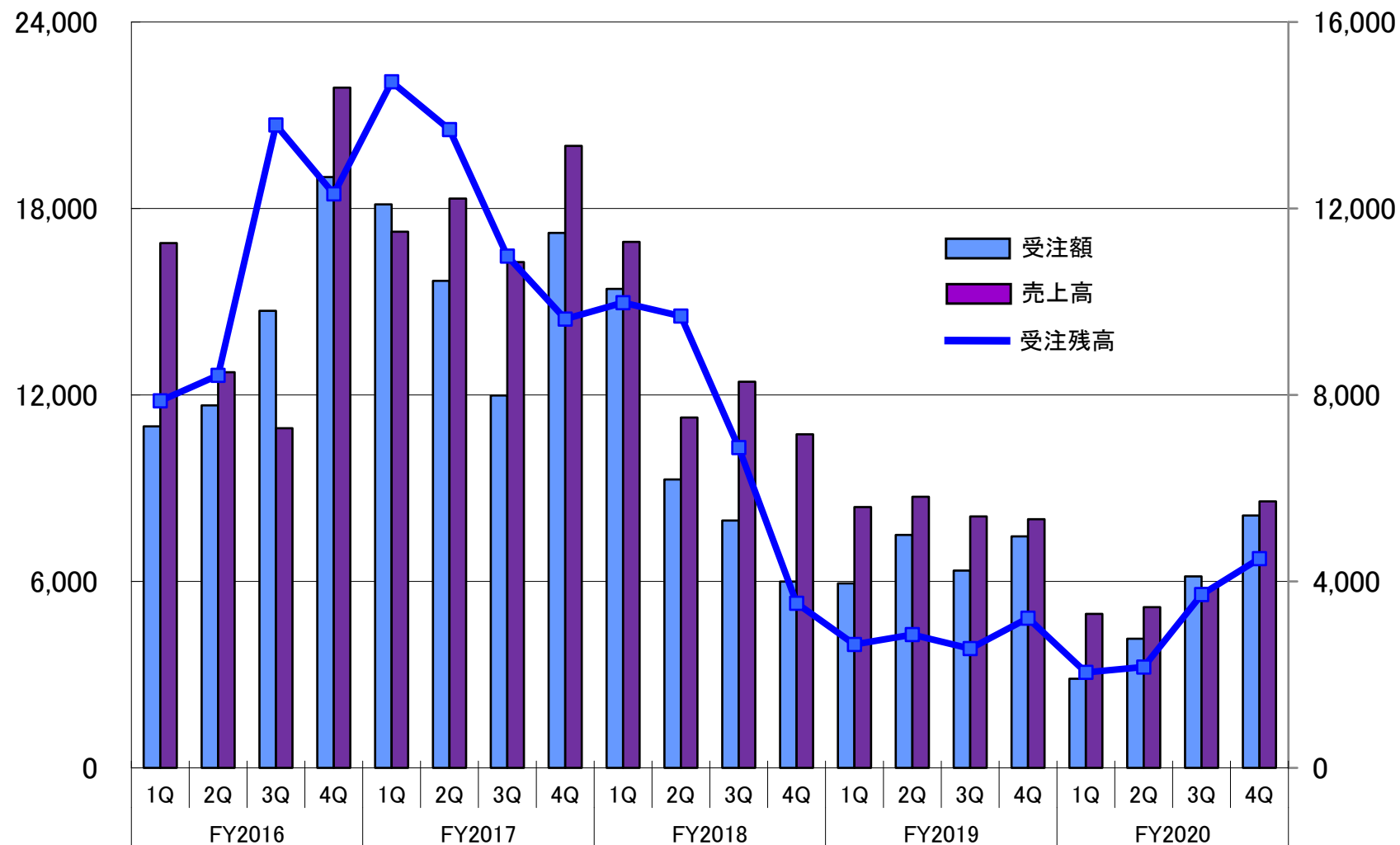
(百万円)		2021年3月期	2020年3月期	前年同期比 (%)
日	本	5,609	7,003	△19.9
欧	州	5,153	6,281	△18.0
ア	ジ	11,432	16,180	△29.3
中	東	961	2,535	△62.1
その他(海外)		1,331	1,204	+10.5
合	計	24,489	33,206	△26.3

※2020年3月期は欧米の子会社SHIMASEIKI U.S.A、SHIMASEIKI EUROPE LTD、SHIMASEIKI SPAIN、S.A.Uの3社において2019年1月1日から2020年3月31日までの15か月間を連結しています。2019年1月1日から2019年3月31日までの売上高4億32百万円が含まれています。

受注・売上・受注残四半期推移〔連結〕

受注・売上高(百万円)

受注残高(百万円)



四半期別業績推移〔連結〕

(百万円)	2019/3				2020/3				2021/3			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	16,923	11,273	12,423	10,732	8,393	8,724	8,089	7,998	4,954	5,171	5,787	8,574
営業利益	3,307	1,036	1,257	△962	△872	△1,838	△1,145	△1,746	△1,970	△2,213	△2,371	△2,588
経常利益	3,670	957	1,215	△852	△944	△1,954	△963	△1,721	△1,414	△1,721	△1,777	△2,360
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,571	740	849	△327	△689	△1,372	△852	△5,513	△1,463	△1,745	△1,861	△12,796

(百万円)

受注高	15,412	9,280	7,958	5,994	5,934	7,495	6,345	7,447	2,868	4,153	6,160	8,120
受注残高	9,979	9,691	6,869	3,531	2,647	2,858	2,558	3,211	2,048	2,163	3,716	4,489

貸借対照表〔連結〕

現金及び預金 当期末25,636百万円（前期末21,641百万円）で、前期末より3,995百万円増加
 売掛債権 当期末44,823百万円（前期末51,248百万円）で、前期末より6,425百万円減少
 たな卸資産 当期末16,213百万円（前期末18,410百万円）で、前期末より2,197百万円減少
 自己資本比率 81.7%（前期末82.6%）

（百万円）	2021年3月期 期末	2020年3月期 期末	増減
流動資産	82,811	89,470	△6,659
固定資産	27,328	41,224	△13,896
（有形固定資産）	16,043	26,964	△10,920
（無形固定資産）	2,302	2,931	△629
（投資その他の資産）	8,983	11,328	△2,345
資産合計	110,140	130,695	△20,555
流動負債	14,633	17,292	△2,659
固定負債	5,470	5,452	+18
負債合計	20,104	22,744	△2,640
株主資本	89,996	115,761	△25,764
その他の包括利益累計額	△0	△7,849	+7,849
新株予約権	23	25	△1
非支配株主持分	15	14	+1
純資産合計	90,036	107,950	△17,914
負債及び純資産合計	110,140	130,695	△20,555

（百万円未満切り捨て表示）

キャッシュ・フロー計算書〔連結〕

営業活動によるキャッシュ・フロー 売上債権、棚卸資産の減少などにより、59億37百万円の資金の増加
 投資活動によるキャッシュ・フロー 投資有価証券の売却などの収入などにより12億99百万円の資金の増加
 財務活動によるキャッシュ・フロー 短期借入金の返済、配当金の支払いにより37億76百万円の資金の減少
 現金及び現金同等物の期末残高 前年末に比べ39億99百万円増加しました。

(百万円)

項 目	2021年3月期 期末	2020年3月期 期末
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,937	3,776
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,299	△3,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,776	△5,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	538	△401
現金及び現金同等物の増加額(△減少)	3,999	△5,266
現金及び現金同等物の期首残高	21,582	26,849
現金及び現金同等物の期末残高	25,582	21,582

(百万円未満切り捨て表示)

2022年3月期業績計画〔連結〕

	(百万円)		(百万円)
	2022年3月期	前年比(%)	2021年3月期
売上高	28,000	14.3	24,489
営業利益	△7,000	—	△9,143
経常利益	△6,300	—	△7,273
親会社株主に 帰属する当期純利益	△6,400	—	△17,866

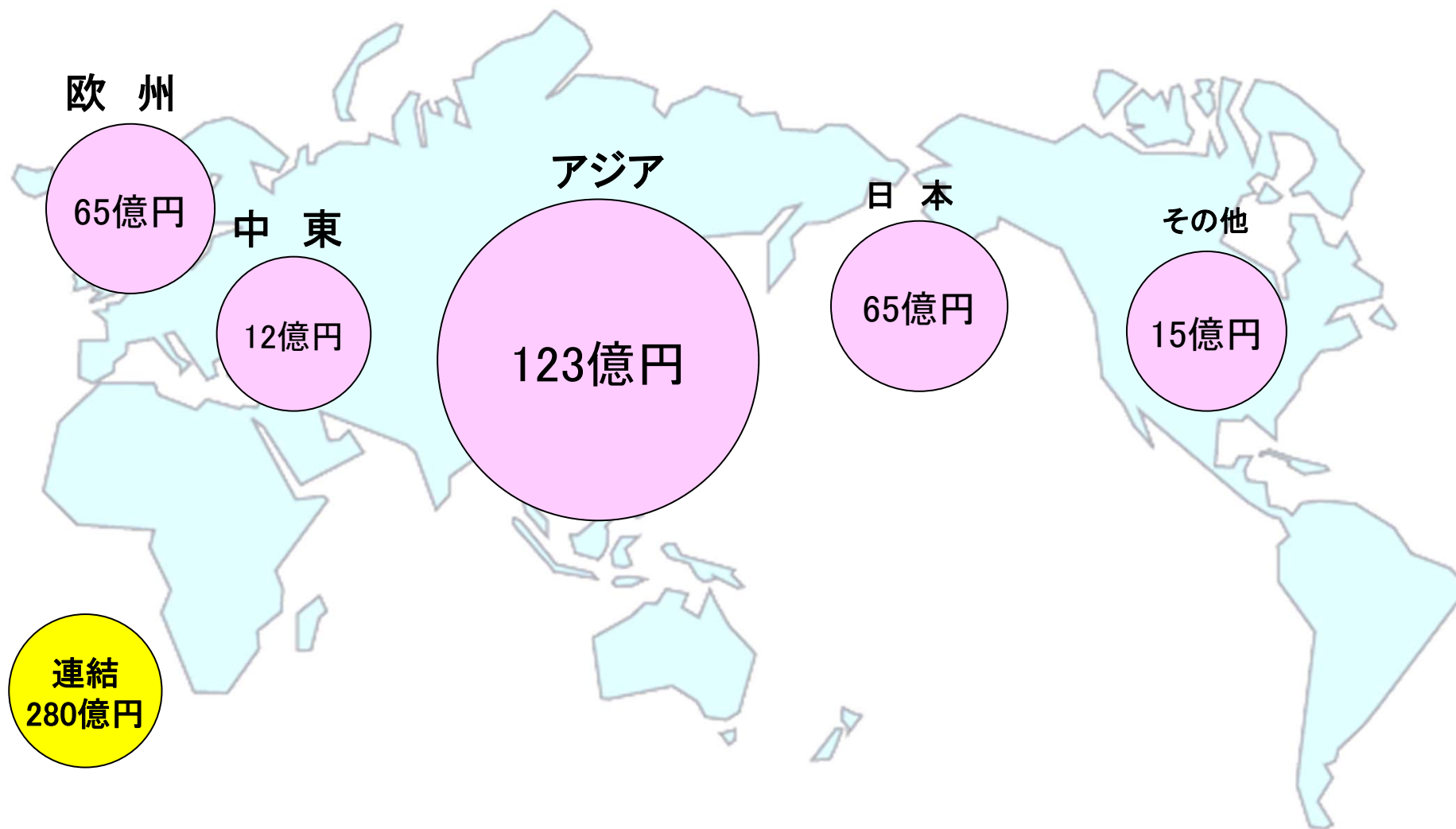
通期計画の前提 為替レート 105円/ドル 125円/ユーロ

為替が1円変動した場合の営業利益への感応度 米ドル18百万円 ユーロ3百万円

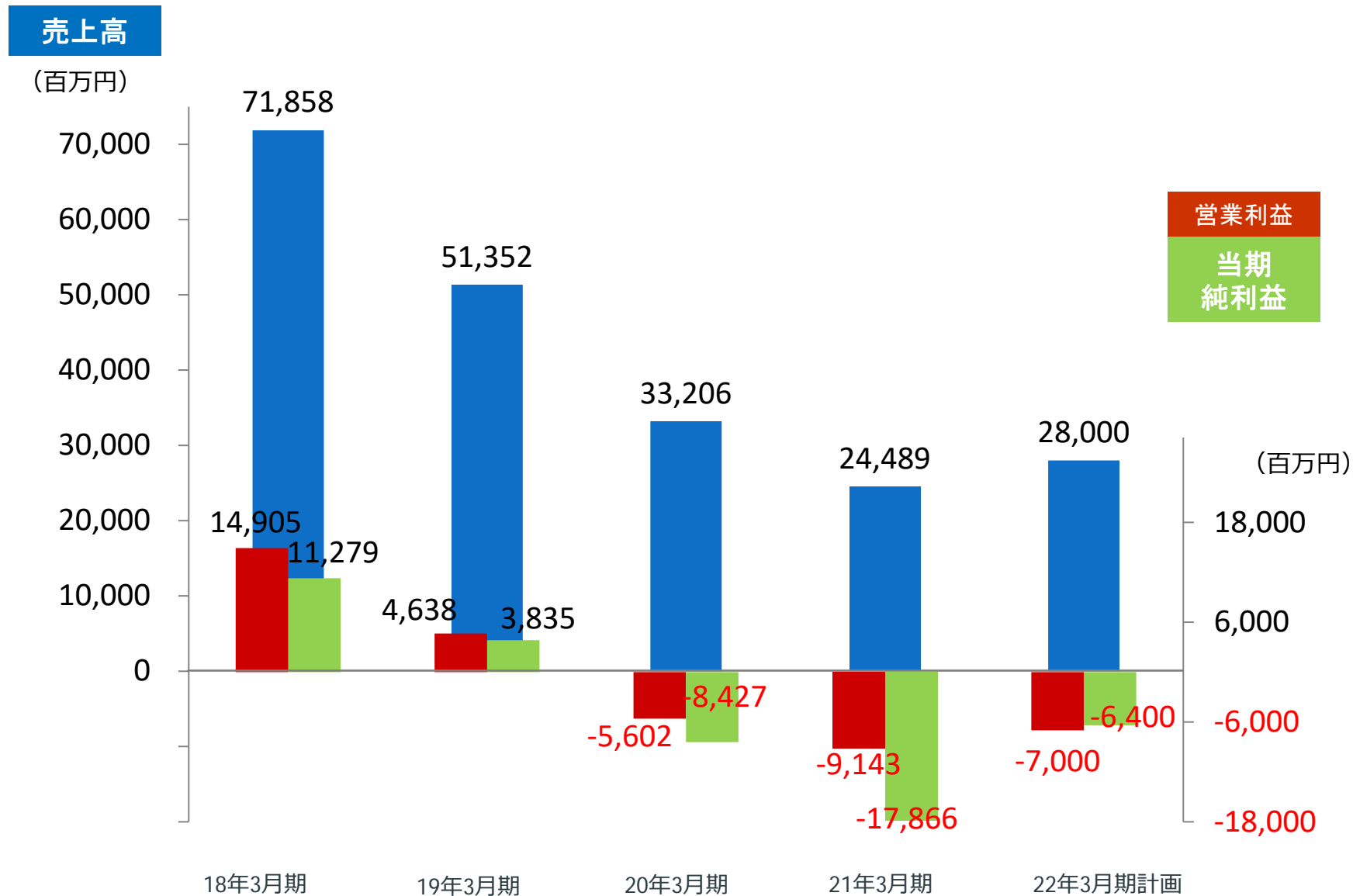
2022年3月期業績計画〔連結〕【事業セグメント別】

(百万円)	売上高	前期比 (%)	営業利益	前期比 (%)
	通 期		通 期	
横 編 機	18,800	+20.9	△1,500	-
デザイシステム	2,566	+2.3	300	+164.1
手袋靴下編機	1,420	△27.9	0	-
そ の 他	5,214	+16.8	200	+1546.7
消 去			△6,000	-
合 計	28,000	+14.3	△7,000	-

2022年3月期業績計画〔連結〕【地域別売上高】



売上高・利益の5か年推移〔連結〕

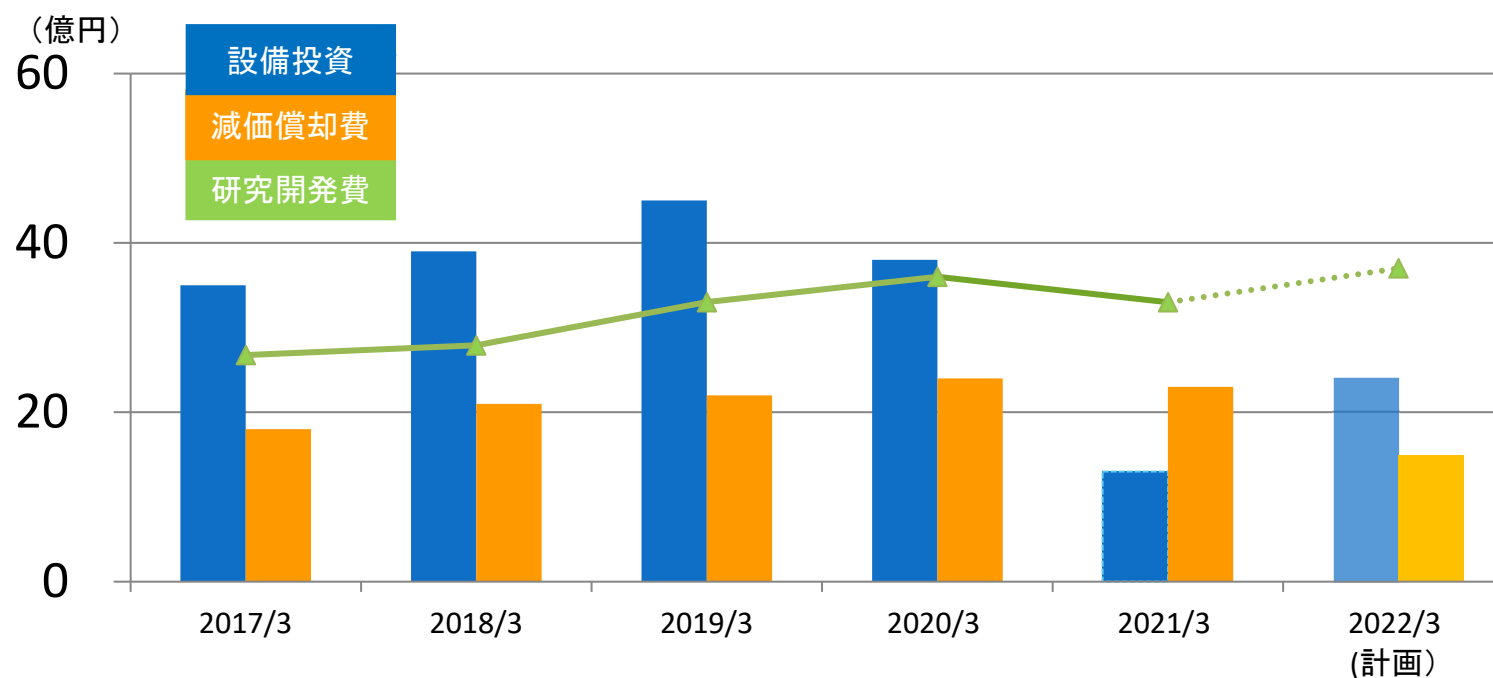


研究開発費・設備投資等の推移〔連結〕

開発スピードはゆるめずに

21年3月期（実績） 設備投資13億円（リース資産2億円含む）
減価償却費23億円、研究開発費33億円

22年3月期（計画） 設備投資24億円（リース資産9億円含む）
減価償却費15億円、研究開発費37億円



2021年3月期 設備投資実績

本社工場に新工場棟を建設

2020年10月竣工

ホールガーメント横編機の生産能力増強、自動化を推進

2021年4月

工作機械（自動化ラインシステム）の搬入

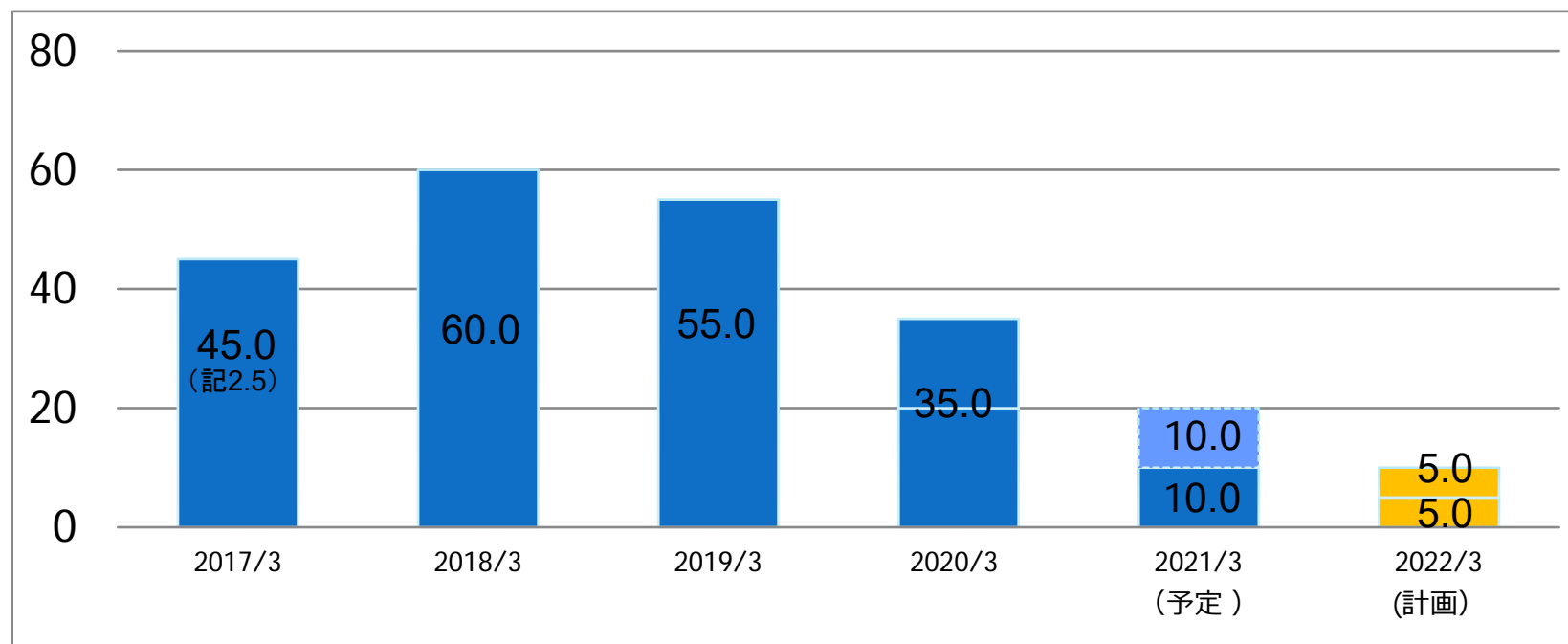


株主還元

2021年3月期(予定) 中間配当金10円を実施、期末配当金10円

2022年3月期(計画) 中間配当金5円 期末配当5円

(円)



アパレル業界の状況

(コロナ前)

- ・ 米中貿易摩擦による生産地シフト（ASEAN等へ）
- ・ サステナビリティ対応による生産・在庫数の意識が変化

(コロナ禍)

- ・ サプライチェーンの分断
- ・ 一部アパレルで実店舗削減、ブランド削減の動き
- ・ Eコマースによる販売拡大

(これから)

- ・ 世界規模での生産革命が始まる
サプライチェーン全体のデジタル化
- ・ 環境配慮の取組みが進展（サステナビリティ）

循環経済（サーキュラーエコノミー）

「サーキュラー・エコノミー・アクション・プラン」

欧州委員会 2020年3月11日発表

重点対策分野の1つに繊維が指定
EUの繊維に関する包括的な戦略（EU繊維戦略）を2021年に発表するとされている。

「循環経済ビジョン2020」

経済産業省 2020年5月22日発表

サステイナブルファッション（環境省）



出典：環境省ホームページより

環境配慮の取組みが業界で進展する

アパレル産業の課題と当社の機会

<課題>

- 素材から最終製品まで一気通貫での環境配慮設計が導入されにくい産業構造
- 大量生産・大量消費型・過剰在庫
(リードタイムが長期)
- 季節(春夏秋冬)への対応
長い商品製作期間と短い販売期間
気候に左右・流行は1年
- 環境負荷低減
(社会のサステナビリティ)
- 消費者行動の変化(エシカル消費等)

<当社の機会>

- 環境問題(気候変動、廃棄、資源、水)
- 文化(伝統技術、暮らし方、ジェンダー)
多品種少量、追加生産(ホールガーメント)
- 消費者の動向(EC、D2C、パーソナライズ)
- デザイン(3D、VR、ウェアラブル)
- 生産(パーソナライズ、サーキュレーション)
デザインシステム・ホールガーメント
- 素材(バイオ素材、新素材)
子会社: 東洋紡糸工業(株)



「トータルファッションシステム」
を中心としたソリューション提案で課題解決



WHOLEGARMENT®



SDS ONE APEX4

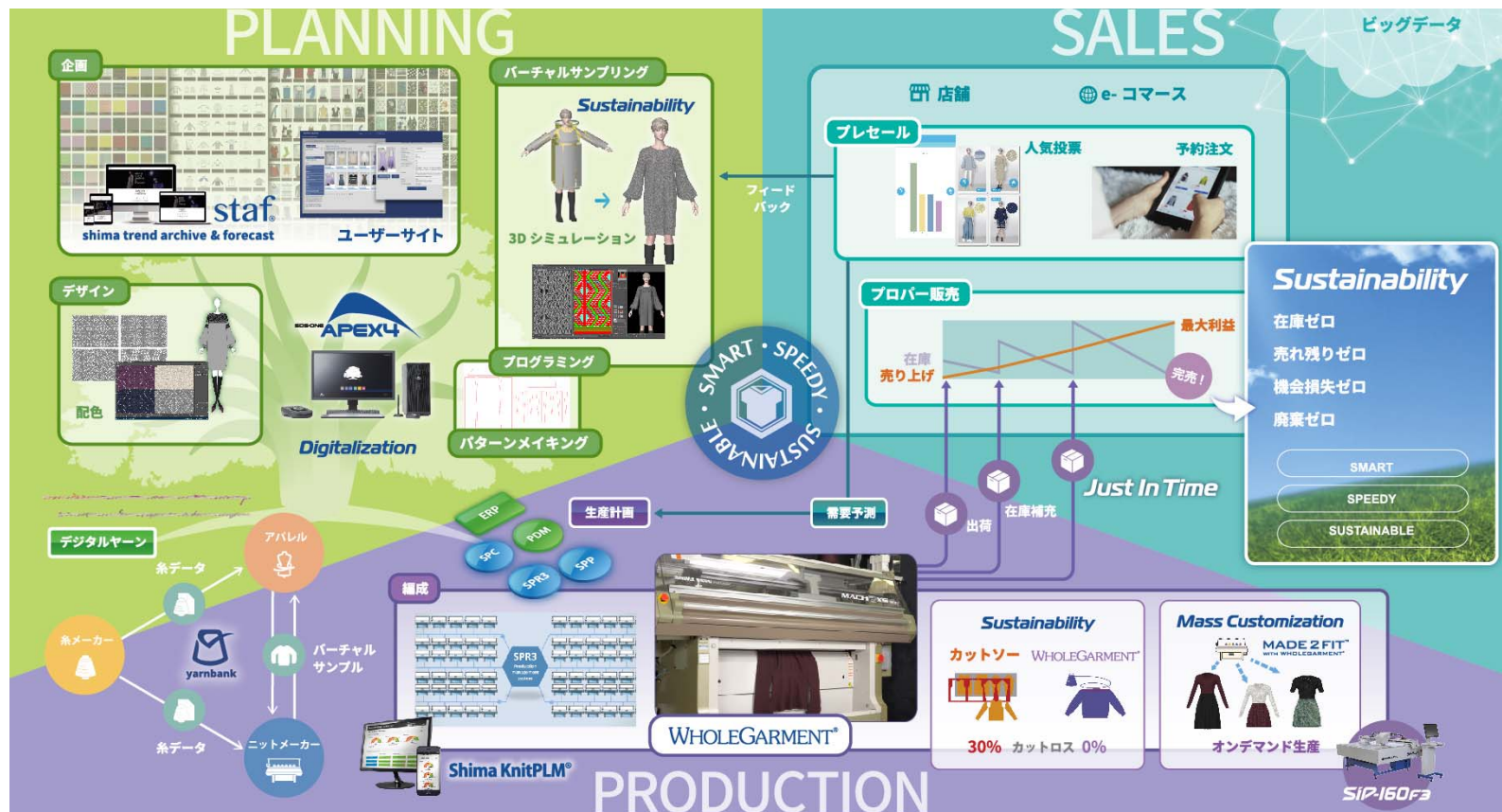


SHIMA SEIKI

トータルファッションシステム

当社が提唱する「トータルファッションシステム」は、

デジタル化、マスカスタマイゼーション、サステナビリティを実現
 3Dデザインシステムを核に、企画・生産・販売の全ての工程がそれぞれ相互に情報を取り交わし
 密接に関わりスピーディーでスマートな環境に優しいモノづくりが可能



新サービス



デジタルヤーンソーシングウェブサイト



アパレルデザインソフトウェア



2021年3月サービス開始



SHIMANAVI™

eラーニングシステム

世の中のニット化～ *KNITify the World™* Smart Solutions in Textiles ～

横編みニットの特性である「素材から形をつくる」は大量生産型のモノづくりからの脱却、個性化の時代に対応します。

横編み技術をファッションの枠にとどめず、多彩な分野にひろげ、需要の拡大を目指します。



立体編成技術



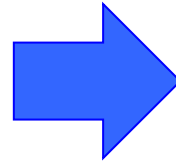
インレイ（横糸挿入）編成技術



ナイロンモノフィラメント



炭素繊維プリフォーム

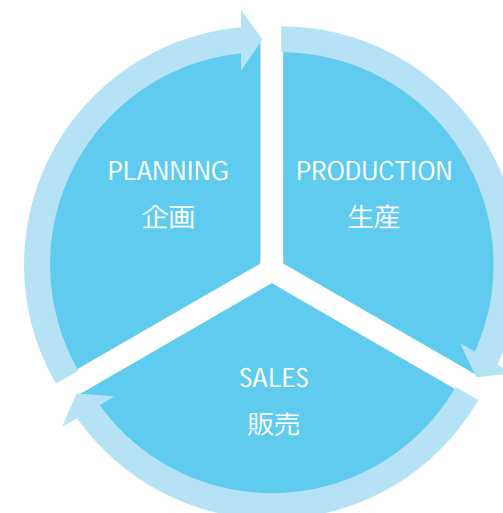


スポーツ、インテリア、産業資材、
メディカル、ウェアラブル、自動車、航空宇宙

(補足) トータルファッションシステム

<当社の優位性>

ソフトウェア（デザインシステム）と
ハードウェア（横編機、裁断機、手袋編機）
ノウハウ（編成方法）を保有、三位一体で
サプライチェーン全体にアクセスが可能



3Dデザイン→プログラム→生産（編み立て）→販売→追加生産
一気通貫のモノづくりが実現できるトータルファッションシステム

バーチャルサンプリング、ホールガーメント横編機の組み合わせで
リードタイムを短縮、在庫・廃棄ロス削減につなげコスト低減

課題解決を目指したソリューション提案を強化、
サプライチェーン改革を目指す

(補足) 新サービス

1. 『yarnbank』 (デジタルヤーンソーシングウェブサイト) サービス開始 : 2020年 9月

yarnbankは世界の糸情報を検索できる、世界初のウェブサービスです。糸メーカーが参画し、各社の最新の糸情報や糸のデジタルデータを提供します。

yarnbankを通じて簡単に糸データを取得できるようになります。アパレルやニットメーカーなどがバーチャルサンプルを作成する際に、架空の糸ではなく、実際に購入可能な糸を用いたシミュレーションがおこなえることで、生産に即したリアルなバーチャルサンプリングが容易に実現できることとなります。

糸メーカーにとっても、当サイトは新たな販売促進の手法となる上、いままで現物の見本帳作成に要していた原料や時間、コストなどを削減することができ、サステナビリティにも貢献します。

さらに糸メーカー、アパレル、ニットメーカーなど、サプライチェーン全体がyarnbankを介してデジタルで繋がることできるようになり、川上から川下までのデジタルトランスフォーメーション (DX) が実現します。

2. 『APEXFiz』 (アパレルデザインソフトウェア) サービス開始 : 2021年3月

『APEXFiz』は、従来の「SDS-ONE APEX」シリーズの強みはそのままに、多様化する勤務形態にフィットするソフトウェアのサブスクリプションサービスです。APEXFizは従来の「SDS-ONE APEX」シリーズと同様、企画・デザインから配色検討、リアルなファブリックシミュレーション、そして製品の3Dバーチャルサンプリングまで作成可能です。「SDS-ONE APEX」シリーズのバーチャルサンプルは単なるイメージではなく、企画側と生産側をデジタルでつなぎ、両者のコミュニケーションを円滑にするものです。作成したデータはニットメーカーに転送することで、生産プログラムに変換することができ、リードタイムを削減しつつ、より正確なモノづくりを実現できます。

3. 『SHIMANAVI』 (eラーニングシステム) サービス開始 : 2020年11月

SHIMANAVIは「SDS-ONE APEX」シリーズ用のeラーニングシステムです。お客様のご都合の良いタイミング、ペースで講習が受講でき、テレワーク/在宅勤務などの新しい勤務形態にマッチします。さらに多言語対応し、お客様のニーズに合わせた様々なコースをご用意しております。



ホールガーメント

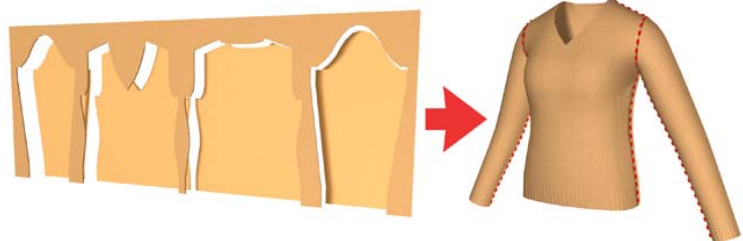
一着丸ごと編機から、立体的に編み上がる理想のニットウェア

作り手よし、売り手よし、買い手よし、業界よし、地球環境によし

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 1. 着る人に優しい | 軽量、快適な着心地、きれいなシルエット、多彩なデザイン |
| 2. 地球環境に優しい | カットロスの削減、大気汚染の防止 |
| 3. 労働者に優しい | 細かいリンク作業の削減 |

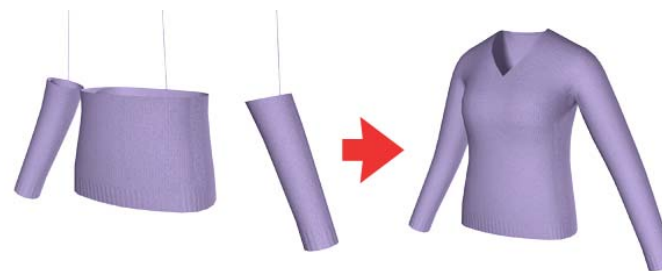
メリット： クイックレスポンスで在庫ロスを削減、消費地での生産が可能に

カット&ソー(労働集約型)



裁断・縫製により約30%のカットロスが発生

ホールガーメント(感性情報型)



イタリア、日本、中国などの消費地で生産

ホールガーメントのメリット

ホールガーメント製品の特長



肩
立体的に編成することで、肩のラインが体にフィットし、自然な着心地が得られます。



身頃
前身頃と後身頃をつなぐ縫い目が無く、シルエットがすっきりとします。また、複数の接ぎから成る型紙と、ダーツなどを編みこむことによる立体成型で、綺麗に流れるドレープが表現できます。



ネックライン
編み込まれたネックラインや衿元により、上品で洗練された製品に仕上がります。



脇
脇には縫い目がなく、従来のニットウェアのごわつき感が解消されます。

ホールガーメントタグ

店頭では、商品につけられているタグを目印に、あなたのホールガーメントをお探しください。

*ブランドや商品によりタグが異なる場合があります。



SHIMA SEIKI

本資料に記載されている当社の計画および業績の見通し、戦略などは、発表日時点において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な要因により大きく異なる可能性がありますことを、予めご承知おきください。